

2026年7月22日

報道機関 ご担当者各位

学校法人 河合塾
経営戦略推進室

催事案内希望

数学・科学・伝統文化を「折り紙」で学ぶ ～関西万博に出展のスタンフォード大学大学院生が講演～ 河合塾K会セミナー8月29日開催

河合塾グループで高度な数学とサイエンスを学ぶK会（東京都文京区・河合塾本郷校内）は、2026年8月29日（土）に、中高生を対象とした夏期セミナー「折り紙と科学と芸術」を開催します。K会のOBで、現在スタンフォード大学大学院で学ぶかたわら折り紙アーティストとして活躍する益子遼祐さんを講師に迎え、実際に紙を折る体験を交えながら、折り紙と数学・科学との関係をわかりやすく紹介します。あわせて折り紙を日本の伝統文化・アートとして捉え、その魅力を探ります。

■ 折り紙から広がる、科学と芸術の新たな世界

日本の伝統文化として親しまれている折り紙は、実は数学や科学、先端技術と深いつながりがあります。

たとえば古代ギリシャの難問「角の三等分問題」は、定規とコンパスでは解決できず、折り紙の技法をもって解決することができました。さらに、人工衛星の太陽電池パネルや医療用ステント（治療で体内におくチューブ状の医療器具）、ナノテクノロジー分野の折りたたみなど、先端技術が折り紙の発想から生まれています。2024年度ノーベル化学賞を受賞したタンパク質の折り畳みシミュレーションにも、折り紙との興味深い共通点を見ることができます。

今回のセミナーは、K会を卒業され現在はスタンフォード大学大学院で光を用いた情報処理プラットフォームの研究に取り組む一方、折り紙アーティストとしても活躍される益子遼祐さんを講師に迎えます。前半は参加者の皆様と実際に紙を折るワークショップ形式で、専門知識がなくても科学分野との密接なかかわりを理解できるように解説します。

後半は、鎌倉時代以前から受け継がれてきた日本文化としての折り紙に焦点を当てます。2025年大阪・関西万博で展示された作品「利他の蓮華」を題材に、工学的なメカニズムと日本ならではの美意識がどのように融合しているのかを、講師自身の創作活動を交えながら紹介します。

実際に折り紙を手に取りながら、数学・科学・伝統文化のつながりを体験的に学ぶ本セミナーは、折り紙という身近な題材を通して中高生の皆様に数学や科学の奥深さやおもしろさに触れていただく機会となります。ぜひ貴媒体でこの機会をご紹介しますいただくと幸いです。また、当日の取材も歓迎いたします。



■ K会夏期セミナー「折り紙と科学と芸術」開催概要

日時：8月29日（土）13：00～15：00

対象：中学生・高校生と保護者（1家族3名様まで）

会場：K会（東京都文京区小石川2-6-1 河合塾本郷校内）

受講料：無料

講演者：益子 遼祐（ましこ・りょうすけ）氏

K会OB。東京大学卒業、同大学院修了後、現在はスタンフォード大学大学院電気工学科専攻Ph.D.課程で光を用いた情報処理プラットフォーム研究を行う。折紙アーティストとして2019年全国学生アートデザインアワード学展外務大臣賞受賞、パリ前衛芸術の伝統的画壇サロン・ドートーヌ2022入選。ブランドとのコラボレーションやメディア出演など多数。2025年大阪・関西万博に出展された「利他の蓮華」が和歌山県立博物館に収蔵されている。

お申し込み：www.kawai-juku.ac.jp/r/nr-26049/

【K会について】 ～数学オリンピック出場者も多数集う、知的刺激あふれる学びの場～

受験を最終目的とせず「学問として」数学や情報科学、物理などを「より高度に、より深く」学ぶことに特化したコースです。中学・高校・大学の壁を取り払い、体系的な深い学びを実現。講師は東大・東大院の在卒生が主体で、国際科学オリンピックのメダリストも授業を担当します。2023年には2名、25年には1名の卒業生が国際数学オリンピックに出場し、金メダルを獲得しました。通常の授業のほか数学オリンピック関連講座なども行い、学問の奥深さや魅力を伝えています。

トップレベル生対象



◆K会ホームページ www.kawai-juku.ac.jp/kkai/

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾グループ広報センター 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）